

2011年(平成23年)5月7日 土曜日

週刊
oni
ビジョン

「押しつけの善意は時としてあだとなる。『ネコの目』で被災者のニーズを見極め、支援することが大事」東日本大震災の発生直後から被災地で医療支援などを行ってきた国際医療ボランティアAMD A(本部・岡山市)。菅波茂代表は、刻々と変化する被災地の状況と被災者の心境にマッチした支援の大切さを強調します。

oniビジョンはAMD

大震災被災地支援考える特番

AMD Aに密着取材



津波で甚大な被害が出た岩手県大槌町を取材する松島記者

Aの活動に密着取材するため、記者(私)とカメラマンが4月、津波で壊滅的な被害が出た岩手県大槌町と

釜石市に入りました。

現地では「ネコの目」を担う調整員が毎日、本部に状況を報告。医療支援だけでなく、被災者を雇用するプロジェクトや被災した高校生に文房具を贈る取り組みなどを行っていました。その様子は今月14日放送予定の特番「岡山発支援のかたち」で詳しくお伝えします。岡山の地から何ができるのか。支援のあり方を考える参考になればと思います。

健)

(報道制作部記者・松島